



ごあいさつ

皆様には、平素より私ども「熊谷商工信用組合(くましん)」に格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当組合は、昭和28年に創業し、来年3月に創立70周年を迎える運びとなりました。これもひとえに地域の皆様のおかげであり重ねて御礼申し上げます。

令和4年度は創立70周年記念イヤーとして各種行事やイベントを本部及び各営業店で開催しております。ぜひご参加いただきますようご来店をお待ち申し上げます。

当組合は、埼玉県北地域のコミュニティバンクとして地域の皆様と共に歩み、今日の経営基盤を築いて参りました。より多くの皆様に当組合の経営内容や営業実績等をご覧頂き、「くましん」をより一層ご理解頂

けるよう、今年度もディスクロージャー誌を作成致しました。

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、厳しい状況が続いていましたが、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きも見られました。しかしながら、年明けからは、新たな変異株による感染が急速に拡大したことから、再び全国各地でまん延防止等重点措置の適用による行動制限が実施され、2月にはロシアがウクライナへ軍事侵攻し、食料を含めた資源高が消費者物価の上昇や企業収益の下振れ等、日本経済に深刻な打撃となりかねない状況にあります。

中小・小規模事業者の業況は、半導体不足や部品供給制約による生産活動への影響や原材料費や原油価格を含む資源価格の上昇などのコスト増加が続いており、景気回復に向けた動きは力強さを欠いております。

こうした状況下、コロナ禍で加速したデジタル化の流れから、働き方改革の進展や人口移動の変化等、社会の変化の兆しが表れており、新たなビジネスチャンスが生まれることで地域の産業の活性化が期待されております。

今期は第9次中期経営計画の中間年度となります。

スローガンにあります「新しい環境の中での人材育成と収益力強化」に向け、従来の知識と経験では判断できない局面に備え、常に変化を敏感に捉え、地元企業の皆様の資金繰りのご支援等に全力で取り組んで参ります。

令和3年度決算につきましては、一昨年に総力を挙げて取り組んだ無担子無担保融資等による資金繰り支援により、事業者の方の資金繰りは全体として落ち着いていた影響で、貸出金残高は532百万円増加にとどまり、貸出金利息収入も若干目標未達となりました。

しかし、投信・保険等の手数料収入は目標以上となり、当期利益は87百万円の計上となりました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ問題も加わり、金融環境は更に厳しいものとなると予想しておりますが、「地域への貢献」「お客様第一主義」「健全にして堅実な経営」「役職員の生活向上」を経営理念として、その実現に向けて、役職員全員が全力で取り組んで参ります。引続きのご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

熊谷商工信用組合 理事長 **吉田 豊**